



★ 令和7年度石山小学校学校経営全体構想図 ★



【学校の教育目標】

ふるさと石山を愛し、かしこく、やさしく、たくましく生きぬく児童の育成

児童の願い、教師の願い、保護者・地域の願い

【目指す学校像】

- ・楽しい学校
- ・美しい学校
- ・安全な学校
- ・ともに学ぶ学校

【目指す児童像】

- かしこく
・よく考え、進んで勉強する子ども
やさしく
・思いやりのあるやさしい子ども
たくましく
・たくましくねばり強い子ども
いきいきと
・地域に誇りをもち、地域に学ぶ子ども

【目指す教師像】

- ・常に専門職としての資質を高めようとする教師
- ・豊かな人間性と広い視野・教養をもつ心豊かな教師
- ・子どもや保護者をはじめ地域や同僚から信頼される教師

教育振興基本計画

【学校経営ビジョン】

歴史と伝統ある学校として、「児童一人一人の存在の尊さ」を基本理念とし、学校の教育目標の実現に向けて、児童・教師・保護者・地域住民の心が通い合う「チーム石山」の組織力を高めることにより、それぞれが主役となり笑顔かがやく魅力ある学校（ウェルビーイングな学校）づくりを行う。

令和7年度のキーワード 「わくわく スマイル いしやま」

コミュニティ・スクール

【ビジョン実現のための重点目標と手段・ゴールイメージ】

【子どもがががやく教育の推進】

- ◎ 主題研修等を通してわさびの授業（子どもたちが主役の授業）の実現のための指導力向上に努めるとともに、児童の「学力向上」と「学びに向かう力」の育成を図る。
(各教科の単元テスト平均85点以上)

- 図書館サポーターと家庭と連携しながら図書館環境と読書活動の充実を図り、児童の読書習慣を育成する。
(各学年部貸出目標冊数 低…100冊 中…80冊 高…60冊)

【すこやかな心身の育成】

- ◎ スクールワイドPBSの考え方を基に望ましい行動の育成と規範意識の高揚を図る。
(「あいさつをよくする」と答える児童90%) (「きまりを守る」と答える児童90%)
- いじめ不登校対策委員会及び日常的な観察、情報共有を通して児童理解を深め、いじめの早期発見、対応に努める。
(「望ましい人間関係」において肯定的に答える児童90%)
- 食事のマナーを身に付け、自分に合った量を完食することができる。
(「食事のマナー」「自分に合った量を完食する」において肯定的に答える児童80%)
- 立腰への意識を高め、「号令時・字を書く時・話を聞く時」の姿勢を立腰にしようとする態度を育てる。
(「号令時・字を書く時・話を聞く時に立腰ができる」と答える児童80%)

【学校と地域の連携・協働の推進】

- 学校運営協議会と連携した教育活動（学習ボランティアの積極的な活用、地域貢献活動）を推進し、ふるさとを愛する児童の育成を図る。
(「ふるさと石山を愛している」と答える児童90%)
- 学校運営協議会での熟議やホームページ、Sigfy等を活用した広報活動に努め、学校・家庭・地域が目標を共有し、連携・協働して子どもたちを育てていこうとする体制を整える。
(「学校の説明責任」に肯定的に答える保護者や地域の方90%)

【教職員の指導力と組織力の向上】

- メンターチームを組織し初任者に継続的に関わることにより、初任者を「学校で育てる」意識の醸成と組織力の向上を図る。
- 教職員評価制度によるミーティングやフィードバックを活用し、各教職員のキャリアアップを図ることで、やりがいをもって学校経営に参画できるようにする。
- 教職員一人一人が自分の働き方を見直し、自己のもつ能力を十分発揮できる職場環境を整えることで、ウェルビーイングな学校を目指す。

宮崎県教育振興基本計画

コンプライアンス意識の高揚

【学校の取り組む課題】

- ・危機管理意識の高揚と防災体制・安全教育の充実
- ・「児童一人一人のよさや可能性」を伸ばす教育の推進
- ・自他ともに大切と認め合える集団づくりの推進
- ・教育的な課題の把握とスクールワイドPBSへの取組
- ・学校教育目標の具現化を図る数値目標の設定
- ・P D C Aサイクルに基づく組織的な課題解決（必要に応じて反省、改善）
- ・家庭・地域との「育てたい児童像」の明確化・共有化
- ・学校運営協議会と連携した教育活動の推進（地域の教育資源活用・地域貢献活動）
- ・積極的な情報収集と発信
- ・「子どもたちが主役の授業」のための研修やOJTの充実（学び続ける教師）
- ・児童、家庭、地域、同僚とのよりよい人間関係の構築
- ・コンプライアンスや働き方改革の推進

都城市学校教育ビジョン

働き方改革は働きやすさ×働きがい（心理的安全性の高い職場 資質向上）